

環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング発表資料

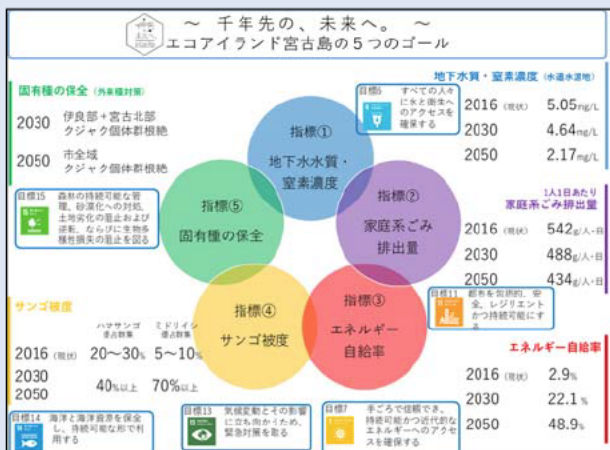
活動団体名：宮古島市
活動地域：宮古島市

活動におけるテーマ

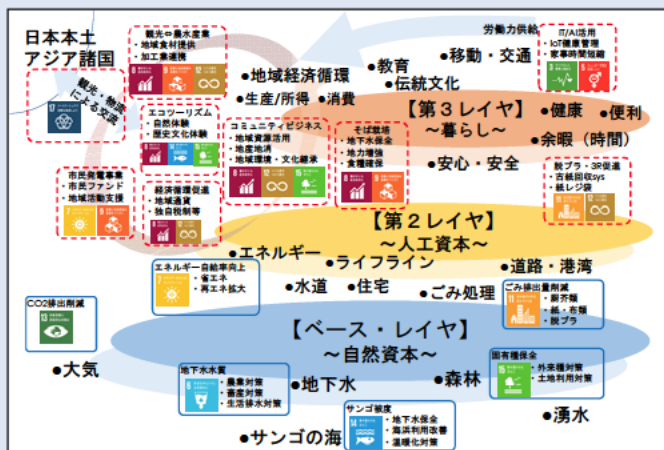
エコアイランド宮古島における 地域経済循環の確立

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

◆地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿 エコアイランド宮古島「千年先の、未来へ。」 5つのゴールと地域経済循環の実現で目指す “いつまでも住み続けられる豊かな島”



エコアイランド宮古島宣言2.0 5つのゴール



エコアイランド宮古島 概念図

地域の現状と課題

地域の現状

- ◎ 離島沖縄本島から300km
- ◎ すべて地下水に依存
- ◎ 地下ダムによる農業展開
- ◎ サングなど自然の魅力による観光振興
- ◎ エコ施策の推進体制



- ◎ 観光客の急増（店舗混雑等）→リゾート開発増→住宅不足→家賃高騰
- ◎ 「バブル」と言われる中、恩恵の実感が乏しい。
- ◎ 経済の実態把握が未着手

課題

- ◎ 観光に対するネガティブな感情が広まりつつある。
- ◎ 経済的な恩恵を市民に繋げ、市民生活の改善へ繋げる必要。
- ◎ 「環境」や「経済」のみならず、「暮らし」の豊かさを再定義する必要。



- ◎ まずは地域経済循環の分析を行い、好循環を生み出す仕組みづくりに着手。

地域循環共生圏を活用して目指す地域の実現のために

- ◆ 地域経済の分析は必要だが、分析のみでは解決に結びつかない。結果を踏まえ、市民や関係団体等と問題意識を広く共有する必要がある。また、共有化された問題意識をベースとして、具体的な対策を立案し、暮らしが豊かになるイメージを共有することが重要。
- ◆ 本市には、各地域の自治会を基礎として、コミュニティに強い繋がりがあるため、自治会単位での巻き込みを想定。
- ◆ また、対策の具現化に向けては、地域における企業や金融機関との連携が重要。
- ◆ 近年の社会的変化から派生する様々な課題があることから、解決策を新たなビジネスチャンスに繋げていく。
- ◆ 実行にあたっては、地域経済循環に資するファイナンススキーム（ローカルファイナンス）の仕組みを取り入れていく。

今後の事業取り組み予定

- ◆地域の現状、課題を共有するためのプラットフォームとして、市民協議会を設置する。
- ◆地域経済分析や新規プロジェクト検討の状況、先進地域のローカルファイナンスモデル等について、協議会で共有。
- ◆エコ推進計画の更新作業と連携。
- ◆庁内勉強会と市民協議会で、官民双方から課題出し。

スケジュール（令和元年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定				◇請負業者決定 ◇事務局設置 ◇キックオフミーティング			現地意見交換会			◇中間報告書提出期限 活動団体成果報告書提出◇		◇成果発表会 ◇シンポジウム
ビジョンの策定						協議会の立ち上げ		フォーラム開催	ワークショップ開催		フォーラム開催	
ステークホルダーの巻き込み						協議会の立ち上げ		フォーラム開催	ワークショップ開催		フォーラム開催	